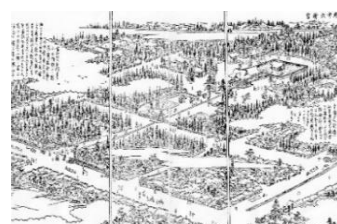


大都市江戸と府中宿の暮らし ～今につながる江戸時代の庶民文化～

季節感を失いつつある現代、季節とともにあった江戸の暮らしのリズム感を見直してみることで、現代社会が目指す持続可能な循環型社会に関わるヒントを探ってみたい。



広重「名所江戸百景日本橋雪晴」



府中六所宮（江戸名所図会）

- ◆会場 府中市生涯学習センター2階講堂
- ◆受講料 2,000円 ◆定員 290名（募集 138名）
- ◆お申込 府中市生涯学習センター総合受付
TEL：050-3491-9849

回	日時	講師	テーマ／内容
1	1月16日（土） 14：00～16：00	市川 寛明氏 （江戸東京博物館 学芸員）	東京の原点・江戸の暮らしと文化 ・自然と密接した年中行事に、くらしや文化のリズム感 ・交通・流通機構の基盤は東京に継承
2	1月23日（土） 14：00～16：00	同上	今につながる江戸の庶民文化 ・飲食業（大店から屋台まで）、両替・札差業、レジャー業、人材派遣業（人宿）など三次産業が盛況 ・現代に継承されている伝統工芸の職人技
3	2月6日（土） 14：00～16：00	花木 知子氏 （府中市郷土の森 博物館学芸員）	甲州街道府中宿紀行～府中を訪れた人々～ ・府中宿物語：問屋場の運営、旅籠よもやま話、旅人の難儀 ・紀行文に見る府中の観光（「嘉陵紀行」などに見られる府中の名所めぐり）
4	2月13日（土） 14：00～16：00	猿渡 諒氏 （大國魂神社 権禰宜）	江戸時代の武蔵国総社六所宮における伝統祭事と変遷 ・江戸時代の武蔵国総社六所宮の姿（武蔵国六所宮縁起等から読み解く） ・武蔵国総社六所宮祭事から官幣社大國魂神社祭事への継承と変遷、ほか